

## かとうかなこ INTERVIEW



クロマチック・アコーディオンはボタンを押して音を出す。日本では鍵盤式がメジャーだが、ヨーロッパ(特にフランス)では、音域が広くて歯切れの良いクロマチックの方が主流だ。かとうかなこは、その本場で日本人ながら全仏コンクール1位の荣誉に輝いている。「アコーディオンはもともと父が趣味でやっていたんです。その影響で姉も弾き始めて、私は4歳のとき、姉の真似がしたくて始めました」

瞬く間に高度な技術を習熟した彼女は、小学生時代からコンクールで勝ち続け、17歳で全日本総合1位を獲得。高校卒業後にアコーディオン留学のため渡仏した。

「留学時代は、ただただ音楽に集中していました。学校があったオーベルニュ地方は静かな田舎町で、週末に寮の学生たちが実家に帰ってしまうと、鳥の鳴き声しか聞こえないような何もないところ。ひとりの時は空の色が変わっていくのをぼんやり眺めていましたね(笑)」

8月にリリースされた最新アルバム『独奏』の4曲目「1人大地を歩く」は、そんな留学時代の記憶にインスパイアされて生まれた曲だとか。

「たとえば車の中とか、ヘッドフォンをかけて大音量で、とか。今回のアルバムは1人で聴いてもらえたら嬉しいです」

もちろん演奏するのもまた彼女1人。左手でベース、右手でメロディを奏でるクロマチック・アコーディオンは、独奏でも多重的な広がりを持つ。そして独奏であるが故に、オリジナリティを深く追求することができる楽器である。

「自分らしい表現とは何か、私のアコーディオンにしかできない音楽とは何か、いつも模索しています。私がオリジナルを大切に理由もそこにあります。とはいえ、実は超“寡作”なため、年間に納得がいく作曲ができるのは2曲くらい(笑)。でも、じっくり書き上げたいという気持ちが強いんです。今回のアルバムも4曲と曲数が少ない分、1曲ずつが濃密で、繰り返し聴いてもらえるような内容になっていると思いますよ」

(2007年8月16日 渋谷にて)



## 『独奏 dokusou』

NOW ON SALE

TAKI-6002 ¥1,500 (税込) ※TAKI'S FACTORY  
【パーソネル】かとうかなこ(クロマチック・アコーディオン)  
[01] Piece dans le style ancien (古いスタイルの曲) [02] 楽器あそび [03] chercher (シェルシェ) [04] 1人大地を歩く ※全4曲

## ■ライブ情報

11/15 (木) 渋谷 7th FLOOR (東京都渋谷区円山町2-3 O-WESTビル7F)

問: 03-3462-4466

共演: 笹子重治 (g)

※この他にも10/13 (土) - 14 (日) 長野・車山高原 フレンチブルーミーティング, 10/21

(日) 兵庫・神戸 クレオール, 12/16 (日) 奈良 やまと郡山城ホール 等

■オフィシャルwebサイト <http://www.katokanako.com>